

Q 1 A B C分析とE I Q分析と、どう違うのですか？

A 1 物流のA B C分析は一般に種類と数量に対するA B C分析ですが、E I Q分析は、種類、数量、に加えて、注文件数を含めた3次元的な分析で、A B C分析だけでなく、度数分析、P C B分析、など他の分析も行い、データを総合的に分析する分析です。とくに、P C B分析は配送センター・システムの計画に欠かせません。

Q 2 E I Q分析はどうして配送センター計画や改善に役立つのですか？

A 2 配送センター・システム計画は、観念的でなく、数値に基いて計画をする必要があり、E I Q分析すると計画をするための数値的な資料が得られます。

Q 3 なぜ度数分析を行うのですか？

A 3 度数分析を行うとA B C分析だけでは分からない、情報が得られ、特に、E N度数分析、I K度数分析は配送センター計画に有効です。

Q 4 E I Q分析はパソコンで出来ますか？

A 4 データ量の少ないときはExcel、多いときはAccessを用いると出来ます。

Q 5 E I Q分析は他に活用できますか？

A 5 E I Q分析は物流の基本的な分析ですから、いろいろな物流問題に活用できます。たとえば、

在庫削減  
物流コスト  
予測  
生産性  
配送センターの作業方法  
など多くの活用面があります。

Q 6 毎日の注文データは皆違うので、これを全部分析した大変ですが、何日分、分析をすればよいですか？

A 6 1日のE I Qデータと1月まとめたE I Qデータについて、E I Q分析をしてください。これで、概略のシステムはほぼ、分かります。

Q 7 毎日のデータが違うのに、どうして、1日ぐらいの分析で分かるのですか？

A 7 金太郎飴と言うと分かり易いと思います。各、断面の顔は違うのですが、皆、同じような顔をしているのが、金太郎飴で、これが、フラクタル（自己相似性）であり、その顔の特徴です。 EI Q法は、配送センター特性のフラクタル性からシステム計画をする新しい手法です。

Q 8 EI Q分析はA B C分析、度数分析など常識的な分析で、特に、EI Q分析と言う特徴はないと思いますが？

A 8 分析内容は常識的ですが、どのようなデータをどのように読み、どのように配送センター計画に用いるか、というノウ・ハウがEI Q法です。

Q 9 なぜ、あまり知られていないのですか？

A 9 1 A B C分析と同じようなもので、常識的と考えている人が多いようです。  
2 度数分析は面倒なので使わない人が多いようです。  
でも、Excelを使うと簡単に出来ます  
3 分析しても活用が分からぬ。  
データは見よう。読もう。考えよう。分析しても活用出来なければ役に立ちません。  
どのように活用したらよいかの最初が分からないようです。EI Q分析入門講座の例題を参照してください。

Q 10 EI Q分析について分からないときはどうすればよいですか？

A 10 EI Q研究会では読み方の無料相談も受け付けていますので、下記にE-mailでお問い合わせ下さい。

<http://www.EIQ.jp>

Q 11 EI Qの分析データを送つたら、解説してくれますか？

A 11 EI Q研究会は無料で簡単な解説をしていますので、ご利用下さい。